

ぜん 全

しん 進

全員で 進もう!



確かな学び通信
2026.9.7

算数 大研 2-1『計算の仕方をくふうしよう』

先週の木曜日、算数部会の大研が2-1で行われました。2-2が学級閉鎖になり、急遽別のクラスで授業をするという難しい状況の中、大変学びの多い授業をしていただきました。授業や討議会での学びをみなさんと共有したいと思います。

☆前時の学習や既習内容を、今日の学びにつなげる

今回の授業では、導入でペアになって前時の学習内容をふりかえり、互いにアウトプットする場面が設定されていました。自分の言葉で思い出し、友だちと伝え合うことで、一人一人が前時の学びをもう一度捉え直しながら、本時の学習へと向かっていくことができていました。

講師の先生のお話にもありましたが、今回の授業では、子どもたちが既習の内容や前時の学習を自然に活用して考える姿が見られました。「前に学んだことが、今日の学習のどこにつながっているのか」。それを子どもたち自身が感じられることは、学びを積み重ねていく上で大切なことだと思います。

そのためには、授業者自身が、単元の中での学習内容のつながりや、前学年までの学習とのつながりを理解し、それを**授業づくりの視点として組み込んでいく**ことが大切です。

「この学習は、これまでの学びとつながっているのだろうか？」

「今日の学びは、この先のどんな学習につながるのだろうか？」

そんな視点で教材や単元を見直してみると、授業の導入や発問、子どもへの声かけも少し変わってくると思います。これは、算数に限らず、どの教科等でも大切にしたい視点です。

☆友だちの考えを受け止める

授業の中で、自分の考えと比べながら友だちの考えを聞き、「なるほど」「自分と同じだ」「どうしてだろう」など、納得や共感、疑問といった感じたことを素直に表現している子がいました。

友だちの考えを聞いて終わりではなく、**自分の考えと比べ、何かを感じ、それを返していく**。こうしたやりとりが積み重なることで、研究主題である「認め合い、つながりがうまれる」集団に近づいていくのだと思います。

そのためには、友だちの考えを聞く「**ここぞ**」というタイミングでは、**みんなで手を止め**、互いの考え方や感じ方を受け止める時間を大切にしたいです。



2 まきさんは、15円のあめと、40円の赤えんぴつを買いました。えんぴつを買いわすれたので、店にもどり30円のえんぴつを買いました。ぜんぶでいくらつかいましたか。

またつづく、(め) しきをくらべてわかることはなんだろう？

① $15 + (40 + 30) = 85$ → じゃんはんがちかうだけ！ たすすうじは同じ！

② $15 + 40 + 30 = 85$

③ $40 + 30 + 15$

④ $30 + 40 + 15$

こたえ 85円

(ま) ()をつかうことで、どんなチームで考えたか、あらわすことができる。



☆授業者のこだわり

45分間の授業の中に、たくさんの授業者のこだわりが見えました。例えば、問題の場面を正しく捉え、立式やその理由を明確にするために、問題文の中から解決に必要な要素を見つけて線を引く活動。引いた本数のズレをきっかけに、3つの数量の扱い方や、文脈と数量の関係性に着目させる仕掛け。買った品物の掲示物を、実際に出てきた順序に貼り直す工夫。あえて考えが拡散するような発問を投げかけ、子どもたちの多様な意見を生かしながらゴールへと収束していく流れなどです。

こうして振り返ってみると、授業者が「こうしたい」というこだわりをもって授業をつくっておられたことが伝わってきます。もちろん、そのこだわりが思い通りに「はまった」部分もあれば、「こうしたほうがよかった」と感じる部分もあったかもしれません。それは、授業だからこそ当然です。大切なのは、「なぜ、この活動をするのか」「なぜ、ここに時間をかけるのか」を授業者自身がもっていることだと思います。

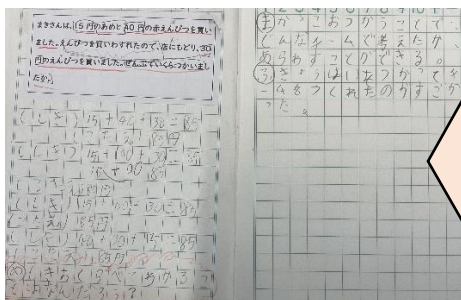
子どもたちが「自分はどう考えているから、こう表現する」と同じように、教師も「こういう力をつけさせたいから、この活動をする」「子どもたちにこう考えてほしいから、ここではあえて時間をかける」と、**自分なりの意図をもって授業に臨む**。授業者の「こだわり」は、子どもの学びに対する思いからうまれるものなのだと感じました。

☆「ふりかえり」で学びをつなげる

授業の最後に、子どもたちが学習を振り返る時間がありました。振り返ること自体は大切ですが、子どもたちに「自由に振り返って書いてみよう」と伝えるだけでは、「できた」「すごかった」「楽しかった」といった、少しあいまいな表現になってしまうこともあります。

最初の自分の考えとどう変わったのか、友だちの考えを聞いてどんなことに気づいたのか。「どんな活動をしたのか」だけでなく、「**その中で何を考え、何が分かったのか**」まで振り返ることができると、自分の学びをより具体的に捉えられるのではないかと思います。

また、ふりかえりを書いて終わりにするのではなく、次時の導入で全体に共有したり、授業のはじめに自分のふりかえりを読み返して前時の学習を思い出したりするなど、**ふりかえりを次の学びにつなげる一つの手立て**として捉えることも大切です。



たくさんの学びを
ありがとうございました!!!